

墨田区

～墨田区薬剤師会との協同（クーリングシェルターの活用）～

【成果報告会】

【墨田区】 1. 地域における熱中症対策の事業実施に当たって(現状認識)

(1)地域の課題

- 墨田区には、高齢者の涼み処が15か所あるのみでクールスポットの環境が未整備である。
- この度、「**クーリングシェルターの活用**」と「**地域で活動する団体との共働**」について、墨田区が薬剤師会による「クーリングシェアスポット活動」を支えるという、新たな発展を試みた。また、墨田区保健計画課と墨田区薬剤師会が連携して熱中症予防啓発活動を行った。
- 墨田区薬剤師会は、コロナ禍の対応として、検査キットを無料配布するなど、高齢者のみならず、幅広い年齢層の方々に対応してきた。墨田区では、平成24年度から、墨田区薬剤師会ははじめ区内医療関係者と、様々な事業を通じて**顔の見える連携**を図ってきた。
- **オリンピック2020のボクシング会場として墨田区内の両国国技館**で実施された際に、両国地区の1つの薬局がクールスポットとして活動した。区内全域のいくつかの薬局にクールスポット開設を計画していたが、新型コロナウイルス感染症予防により、叶わず、両国地域のみが控えめに活動したという経緯がある。

【墨田区】 1. 地域における熱中症対策の事業実施に当たって(現状認識)

(2) 地域の特徴

- 墨田区は東京都の東部に位置する**下町**である。令和6年1月1日現在、人口は284,555人、65歳以上の高齢者数は59,850人、高齢化率は21.0%である。
- 長く暮らす高齢者もいるが、マンションも増加し、新しく居住する方も増え、令和5年1月6日に28万人の突破を発表した。コロナ禍の東京離れで人口が減った区もある中、転入超過が継続している。都心へのアクセスが良いわりに地価が安く、若い世代の転入も増えていると分析されている。
- 令和5年度の熱中症搬送件数は156件（東京消防庁10/1速報値による）、うち65歳以上の高齢者の搬送者数は88件で半数以上となった。
- 東京スカイツリーや両国国技館、北斎美術館があり、観光客が多い。相撲部屋も多く、歌舞伎や能、落語の中にも墨田区の様々な名所が登場している。また、墨田区と台東区（浅草）を挟んだ隅田川沿いは花見の名所で通年、観光者が多い地域である。戦後に向島区（北側）と本所区（南側）が合併した。区内の北側には長屋や老舗店など、古い町並みが顕在している。
- R6.2.18第37回国技館5000人の
第九コンサートが開催！



【墨田区】 1. 地域における熱中症対策の事業実施に当たって(現状認識)

墨田区における熱中症による救急搬送者数の推移

年度	年齢区分				傷病程度				合計
	5歳以下	6-19歳	20-64歳	65歳以上	死亡	重症 (※)	中等症	軽症	
2022	2	5	49	62	0	4	45	69	118
2021	0	6	26	47	0	0	32	47	79
2020	0	9	44	74	0	9	49	69	127
2019	0	11	54	71	0	12	47	77	136
2018	1	11	65	89	0	8	59	99	166

※重篤含む

10万人当たりの熱中症搬送者数（2018年～2022年の平均）

年齢区分	6歳以下	7-17歳	18-64歳	65歳以上
全国(参考)	9	67.4	34.2	102.8
年齢区分	5歳以下	6-19歳	20-64歳	65歳以上
墨田区	1.6	22.9	129.8	187.2

※全国の年齢区分は、総務省消防庁「熱中症情報」による
墨田区の年齢区分は、東京消防庁「熱中症搬送人員」による

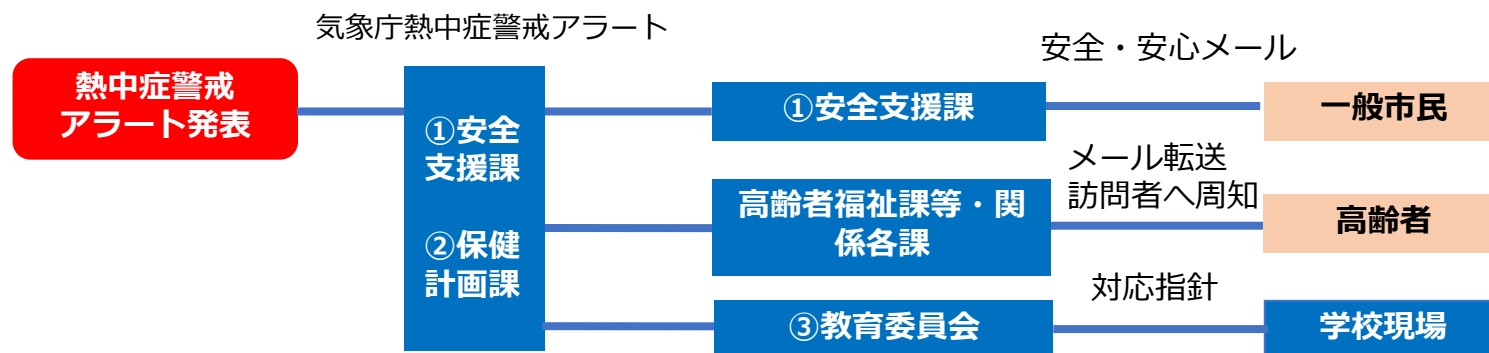
【墨田区】 2. モデル事業の取組概要

事業名：墨田区薬剤師会との協同（クーリングシェルターの活用）

共同実施者	役割
一般社団法人 墨田区薬剤師会	・「すみだひと涼みスポット薬局」の運営・管理 ・熱中症予防に関するセミナー、イベント等のとりまとめ
取組概要	
<必須項目> （１）熱中症警戒アラート発表時に備えた対応を策定すること （２）高齢者を対象とした熱中症予防行動の効果的な情報発信に関すること （３）庁内における横断的連絡体制の整備に関すること （４）「クーリングシェルターの指定・開放」及び「熱中症対策に関連して地域で活動する団体や企業等との協働」について実行可能性を検討すること <選択項目> （５）クーリングシェルターの指定・開放に向けての試行に関すること <必須項目・選択項目以外で、モデル事業として試行・実施したい項目> 墨田区薬剤師会による熱中症予防に関する普及啓発事業として、「すみだ伝え合いラボ」（薬剤師会による）の一環として熱中症対策イベントを実施する。	
事業に期待する効果と効果の指標（KPI）	
【クーリングシェルターの指定・開放に向けての試行に関すること】 ・保健計画課を主体とし、薬剤師会との連携や全庁的な連携をとれる体制を構築できる。 ・すみだひと涼みスポット薬局の利用者のアンケート結果等から、施設の設置における効果および課題を明らかにできる。	

【墨田区】 3. モデル事業の取組内容

(必須項目1)熱中症警戒アラート発表時に備えた対応を策定すること



番号	部局名	対応
①	安全支援課	「すみだ安全・安心メール」を登録している区民他や墨田区全庁各課に対して情報発信している。（発信者は「保健計画課」としている）
②	保健計画課	庁内メールで「熱中症警戒アラート情報」を関係課へ送付。高齢者福祉課から高齢者支援総合センター、高齢者みまもり相談室へ転送、訪問や来所者等へ周知
③	教育委員会（指導室）	庁内メールにて「熱中症警戒アラート情報」を指導室へ送付。指導室から各区立幼稚園・小学校・中学校へ転送し関係者へ周知し、運動中止等各対応を行う。

【熱中症警戒アラートの発表状況と体制における現状及び課題】

防災無線は区民の苦情もあることから、防災以外での使用はしていない。

【墨田区】 3. モデル事業の取組内容

(必須項目2)高齢者を対象とした熱中症予防行動の効果的な情報発信に関すること

- 75歳以上の一人暮らし及び75歳以上の高齢者のみ世帯（約18,000世帯）に対し、「涼み処一覧付きの案内文」と啓発用の「チラシ」・「緊急時に使用できるカード」を送付した。
- 高齢者みまもり相談室が発行している「みまもりだより」による啓発を行った。
- 区ホームページ及び区内を周回している「青色防犯パトロールカー」により、高齢者に対し熱中症予防啓発を呼び掛けた。（高齢者への気づきの促し）
- 基礎疾患があるなど高齢者は熱中症リスクが高いため、高齢者みまもり相談室職員が、見守り活動として熱中症の予防啓発訪問をこれまでから行っている。
令和5年度においては、訪問の際に、麦茶（顆粒）又は経口補水液を配布することにより、さらなる熱中症予防を図った。

墨田区では熱中症に限らず、高齢者みまもり相談室が核となり、地域包括支援センター、民生委員、地域住民、団体、事業者等が相互に連携するネットワーク(すみだ高齢者見守りネットワーク)の仕組みがあり、現在も協働で見守り活動を行っている。

緊急時に使用できるカード
(はがきサイズ：外出時にも持ち歩けるように)

熱中症に気を付けてください！

軽 症

大量に汗が出る。めまい、たちくらみが起こる。手足がつる。筋肉がけいれんする。

中等症

激しい喉の渇き、頭痛、脱力感、吐き気、めまい、気を失うなどの症状が起こる。

重 症

汗が出なくなる、手足が震える、手足が動かない、意識障害(反応がおかしい、無反応)などの症状が起こる。



熱中症になったときは

- ・衣服を緩めて身体を冷やしましょう
- ・水分、塩分補給をしましょう
- ・近くの人に助けを求めましょう
- ・ためらわずに **119番**で救急隊を呼びましょう

おもて

☆必要事項を記入し、携帯してください。

ふりがな		
氏 名		
住 所		
電話番号		
血液型		
生年月日		
持 病		
かかりつけ医	名 称	
	電話番号	
緊急連絡先	名 前	
	電話番号	
	関 係	
備 考		

※区役所への返信は不要です。

うら

青色防犯パトロールによる 注意喚起

熱中症になる危険性が高まっています。
特にご高齢の方は、暑さを感じにくく、
室内でも熱中症になることがあります。
冷房をつけて室内を涼しくし、のどが渴
いていなくても水分をとるなどして、
熱中症に十分注意してください。



【墨田区】 3. モデル事業の取組内容

(必須項目2)高齢者を対象とした熱中症予防行動の効果的な情報発信に関すること

※ 1 高齢者みまもり相談室

- ・ 日常生活圏域ごとに区内 8 か所設置
- ・ 職員数：29名（令和5年3月1日時点）
- ・ 職種：社会福祉士、介護支援専門員

高齢者みまもり相談室

墨田区内を8つの日常生活圏域に分け、高齢者のアウトリーチやネットワークづくりを行っている。



熱中症は予防が大切！

1. エアコンや扇風機を使い、室内の温度と湿度を調整しましょう。
同じ温度でも、湿度の高いほうが熱中症の危険が増します。
室内や夜間でも熱中症は多く発生しています。
室内では風通しを良くし、熱気をためないようにしましょう。
2. 水分補給は計画的、かつ、こまめにしましょう。
のどが渇いていなくても、定期的な水分補給を心がけましょう。
2～3時間おきにコップ1杯程度の水分を積極的に摂りましょう。
3. 暑い時間の外出は避けましょう。
外出するときは、日傘や帽子を着用し、涼しい服装を心がけましょう。
4. 規則正しい生活をしましょう。
不規則な生活や体調不良な状態は、熱中症にかかりやすくなります。
十分な栄養と睡眠(休息)、無理のない行動を心がけましょう。

めまい・頭痛・吐き気や息苦しさ・脱力感・立ちくらみ

このような症状があるときは病院を受診してください。

※ 2 令和5年度（5～9月）の活動実績

高齢者みまもり相談室が設定した対象者に、2～4名の職員がそれぞれ訪問等を実施。

- ・ 対象者数：8,994人
- ・ 実施方法：訪問（4,464件）、架電（2,283件）、その他（手紙投函等：2,247件）
- ・ 実施時期：5月から9月まで

【墨田区】 3. モデル事業の取組内容

(必須項目3)庁内における横断的連絡体制の整備に関すること

- 4月24日に庁内各課に熱中症警戒アラート情報等の提供について連絡し、来庁者への熱中症予防を促すよう依頼した。
- 5月10日に庁内各課に文書管理システムにて、各課の熱中症対策の取組みを確認（全庁共有の回収ボックスにて各課に回答をしてもらう）その際に、熱中症警戒アラート発表の際は、公共施設を暑さしのぎの場所として一時利用される区民についての配慮を依頼した。
- 各課から回答された熱中症対策の取組内容について決裁を行い、その後・関係部・課長に供覧を行った。
- 日頃、環境省からの連絡事項や熱中症予防声掛けプロジェクト（民間団体：うちわや塩飴などの無料提供情報あり）（<https://www.hitosuzumi.jp/aboutproject>）からのメールを必要な部署へ転送し、情報共有をはかっている。日頃、熱中症対策に関するメールでの情報共有のしくみを継続して関係各課と情報共有した。
- 保健計画課を軸として関係課に情報共有や展開を行った。高齢者福祉課、環境保全課と課長レベルでの会議を行い、来年度に向けての検討を行った。

【墨田区】 3. モデル事業の取組内容

(必須項目4)「クーリングシェルの指定・開放」及び「熱中症対策に関連して地域で活動する団体や企業等との協働」について
実行可能性を検討すること

■ 熱中症予防セミナー（区民向け講演会）

【日時】 2023年 6月 7日（水） 10:30～12:00

【場所】 墨田区役所 2階 すみだリバーサイドホール

【講師】 東京曳舟病院 副院長 三浦邦久先生
訪問看護ステーション 堀口 京子氏
墨東病院 薬剤科長 城田 幹生先生

【概要】 講師の先生から熱中症の概要説明や暑熱順化の重要性などを講演いただいた。
また、薬剤師会からすみだひと涼みスポット薬局の紹介を行い、区民への周知を図った。
花王（株）からは『冷タオル』を提供いただき参加者への配布を行った。



【墨田区】 3. モデル事業の取組内容

(必須項目4)「クーリングシェルの指定・開放」及び「熱中症対策に関連して地域で活動する団体や企業等との協働」について
実行可能性を検討すること

区民向け 熱中症予防セミナー

6月7日(水)



熱中症予防セミナー
熱中症をもっと知って暑さから体を守ろう

参加費無料
申込不要

2023年6月7日(水)
10:30~12:00 開場10:15

《セミナー講師》

1. 東京曳舟病院 副院長 三浦 邦久先生
2. 訪問看護ステーション 堀口 京子氏
3. 墨東病院 薬剤科長 城田 幹生先生
4. 墨田区保健計画課 課長 澤田 敦子氏

当日は熱中症対策に有用な経口補水液・塩飴・クールグッズの
無料配布があります(先着120名)

会場:すみだリバーサイドホール
墨田区吾妻橋1丁目23番20 墨田区役所2階

主催:一般社団法人 墨田区薬剤師会 薬剤師会QRコード
後援:墨田区
協賛企業:株式会社花王 株式会社大塚製薬工場、他



【墨田区】 3. モデル事業の取組内容

(必須項目4)「クーリングシェルの指定・開放」及び「熱中症対策に関連して地域で活動する団体や企業等との協働」について
実行可能性を検討すること

■ 「そよかせつながるフェス」(主催：墨田区観光協会)の参加による「熱中症啓発イベント」の実施。墨田区観光協会他他職種とのコラボイベント

【日時】 6月25日(日) 16:00~20:00

7月17日(海の日) 10:00~16:00

8月 6日(日) 10:00~16:00

【場所】 隅田公園そよかせひろば

【概要】

ミニイベント：スポーツファーマシスト・学校薬剤師・防災
熱中症をテーマにしたゲーム(スーパーボールすくい)
アンケートの実施、経口補水液・塩飴の配布



【墨田区】 3. モデル事業の取組内容

(必須項目4)「クーリングシェルの指定・開放」及び「熱中症対策に関連して地域で活動する団体や企業等との協働」について
実行可能性を検討すること

観光協会コラボイベント① そよかぜ つながるフェス】

6月25日（日）

薬局で涼むすみだの夏



商店街連合会さんから無料で
お借りしました

第13回そよかぜつながるフェス

夕涼み マルシェ

Cool Evening Marche

6/25[SUN]
16:00-20:00 @ 隅田公園そよ風ひろば

日中の暑さが和ぐ夕暮れ時のマルシェを初開催!!
美味しい食事や飲み物のほか、ゲームや占いなどの個性豊かな屋台が
隅田公園そよかぜ広場に勢揃いします!

..... 出店コンテンツ

キッチンカー・ビール屋台・DJ・台湾夜市ゲーム・雑貨くじ
紙芝居&駄菓子・占い・整体・プロジェクションマッピング
.....

■主催：一般社団法人墨田区観光協会 / 墨田区商店街連合会 ■後援：墨田区
■企画：株式会社FLAGS ■協力：ESNすみだ / BarAmbience

【墨田区】 3. モデル事業の取組内容

(必須項目4)「クーリングシェルの指定・開放」及び「熱中症対策に関連して地域で活動する団体や企業等との協働」について
実行可能性を検討すること

観光協会コラボイベント② そよかぜつながるフェス 7月17日（日、海の日）

クリーンスポ
ーツと熱中症



テーマはスポーツ



こちらは流血会場!?
**そよ風ひろばに
DDTプロレスが
やってくる!**

第14回 そよかぜつながるフェス
そよかぜプロレス

会場：隅田公園そよ風広場 観覧無料
(東京都墨田区向島1-3)

2023 **7.17** 祝・月
14:00-17:00

タイムスケジュール	
14:00	第一試合開始
15:00	第二試合開始
16:00	第三試合開始

その他、選手によるトークショーやサイン会も開催予定です。
詳しくはDDTプロレスHPをご覧ください。

勝海舟フォーラム 2023

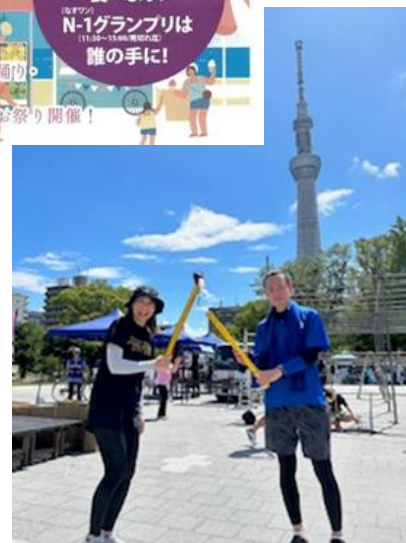
2023.7.17(祝・月) 9:30-11:30 (※9:00 入場無料)
すみだリバーサイドホール2階イベントホール(区民利用可)

お申し込み先
勝海舟フォーラム実行委員会
Eメール: kappohunaru@kaiyaku.com

【墨田区】 3. モデル事業の取組内容

(必須項目4)「クーリングシェルの指定・開放」及び「熱中症対策に関連して地域で活動する団体や企業等との協働」について
実行可能性を検討すること

観光協会 コラボイベント③ そよかぜつながるフェス 8月6日(日) 災害時にも役立つ熱中症対策



モバイルファーマシー登場
&すみだ子どもPR大使

【墨田区】 3. モデル事業の取組内容

(必須項目4)「クーリングシェルの指定・開放」及び「熱中症対策に関連して地域で活動する団体や企業等との協働」について
実行可能性を検討すること

隅田川花火大会の
当日、錦糸公園に
て墨田区薬剤師会
により、花火を見
に訪れた方々に、
熱中症予防の啓発
を実施



SUMIDA
BLOCK
FESTIVAL
7月29日 (土)



【墨田区】 3. モデル事業の取組内容

(必須項目4)「クーリングシェルの指定・開放」及び「熱中症対策に関連して地域で活動する団体や企業等との協働」について
実行可能性を検討すること

川柳コンテスト

→応募は薬局の投票箱
QRコード

区内小学校にも周知依頼
応募数749作品

題「熱中症、私の熱さ対策」

区長賞 選考 ↓



お題 熱中症
私の暑さ対策

川柳コンテスト入賞作品

すみだ熱中症対策プロジェクト

作品名	作者	所属
熱中症がまんしないでクーラーだ	ゆひはひーさん	大人の部
夏休み ぼうしかぶて よぼうしよ	あさりさん	大人の部
ぜん力で ママをあおいで あせまみれ	はるかまさん	大人の部
熱中症 きついた時には かかてた	すみ丸さん	大人の部
散歩中 犬と一緒に 水分補給	双子のトトさん	大人の部
暑い日は 体も頭も ひと涼み	としいさん	大人の部
塩と水 力主じやないが 使いましよう	ミルトウィルグーさん	大人の部
高血圧 塩振る控える 今日どっち	さゆりさん	大人の部
とうげこう ひかげさがして みぎひだり	はるとさん	大人の部
年とうて 人に言われて 知る暑さ	大人の部	
サッカード つめたいたオル 首にかけ	大人の部	
日傘して 日陰を探す 夏の午後	大人の部	
この夏は 水しる塩しる マスクしる	大人の部	
ひと安心 薬局寄つて ひと涼み	大人の部	

【墨田区】 3. モデル事業の取組内容（写真等）

（必須項目4）「クーリングシェルの指定・開放」及び「熱中症対策に関連して地域で活動する団体や企業等との協働」について
実行可能性を検討すること

ソラマチひろばでの熱中症啓蒙イベント（8/11（金・祝））



甘い？
しょっぱい？



DJ薬剤師による熱中症まるわかり
トークリレー



【墨田区】 3. モデル事業の取組内容

(選択項目5)クーリングシェルトの指定・開放に向けての試行に関すること

(墨田区) 涼み処 (主に高齢者福祉施設)

6月から9月までの期間において、高齢者の方が暑さを避けて涼しく過ごすことができる「涼み処 (すずみどころ)」を区内公共施設等に設置した (15か所を設置)



【墨田区】 3. モデル事業の取組内容

(選択項目5)クーリングシェルの指定・開放に向けての試行に関すること

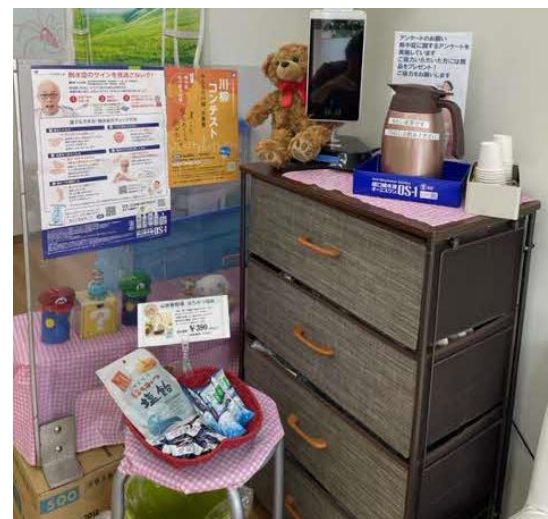
(墨田区薬剤師会)

「すみだひと涼みスポット薬局」(31か所)を開設した。(令和5年6月～9月)

利用者に熱中症警戒アラートの認知度等とかくれ脱水症に関するアンケート協力を依頼し、経口補水液などを配布した。

【アンケート分析結果】

熱中症警戒アラートの認知度は、取組当初は低かった。
高齢者のかくれ脱水症のリスクは高いことが分かった。
218名にチェックを実施、111名が脱水と脱水の可能性がある方と高い方、うち60歳以上は106名
食事量低下と脱水症の関係に関する認知が低い傾向があり、効果的な教育方法の開発が望まれる。
60歳以上の来局者は、かくれ脱水のリスクが高い傾向にあり、平均内服薬は約5剤であった。利尿薬などを服用されている方もいるので、薬剤師による熱中症対策と服薬指導は重要である。



【墨田区】 3. モデル事業の取組内容

(選択項目5)クーリングシェルトの指定・開放に向けての試行に関すること

すみだひと涼みスポット薬局 (クールシェルト) 啓発

- のぼりを立てて実施薬局
(31件) のアピール
- 薬局でのちよこつと休憩
- 経口補水液
- 塩飴の配布



【墨田区】 3. モデル事業の取組内容

(選択項目5) クーリングシェルトの指定・開放に向けての試行に関すること



【墨田区】 3. モデル事業の取組内容

(選択項目5)クーリングシェルターの指定・開放に向けての試行に関すること

クーリングシェルターとしての **ひと涼みスポット薬局**の紹介

すみだひと涼みスポット薬局の取組に興味をもっていたいただいた報道機関から特集記事等にて報道

6月1日産経新聞・6月5日TBS・7月第一週 CATV（食中毒と熱中症：YouTube有） 中居正広のキャスターな会（8/5 T V 朝日）
等々・・・

【墨田区】 3. モデル事業の取組内容

(選択項目5)クーリングシelterの指定・開放に向けての試行に関すること

新聞・雑誌記事の紹介

- ・産経新聞 6/1
- ・読売新聞高知 9/9
- ・東京新聞 8/9
- ・薬事日報 7/24

【墨田区】 3. モデル事業の取組内容

(選択項目5)クーリングシェルターの指定・開放に向けての試行に関すること

【すみだひと涼みスポット薬局の報道等】

すみだひと涼みスポット薬局の取組に興味をもっていた報道機関から特集記事等にて報道

報道

産経新聞

医学アカデミー（予備校の季刊誌）

Nスタ

めざましテレビ

every

ひるおび（TBS）

TBS「ザ・タイム」

ニュース23

日本テレビ「DayDay」

テレビ朝日 中居正広キャスターな会 他多数

問合せ

他県の薬剤師会、都内のケーキ屋さん

墨田区民、墨田区の高齢者体操教室のリーダー

全国各所の自治体や議会関係 等々

【墨田区】 3. モデル事業の取組内容

(必須項目・選択項目以外で、モデル事業として試行・実施した項目)

【町会と連携】

①「墨田区薬剤師会」により町会の集会に出張して啓発活動を行った。

◆ミニセミナー（講話）計 8 回

1) 包括名

むこうじま包括支援センター	4 回
うめわか包括支援センター	1 回
こうめ包括支援センター	1 回
みどり包括支援センター	2 回

2) 講話タイトル

- ① 熱中症について
- ② 脱水をおこす薬について
- ③ 経口補水液とスポーツドリンクの適切な飲み方について

※ 町会活動（墨田区の相撲部屋見学）時に墨田区薬剤師会が参加し、熱中症対策の講和を行った。

②コミュニティー懇談会（7/10～21）

◆全町会の会長あてに説明

「保健衛生担当部内：各課課長」が「墨田区の熱中症対策」について区報650部持参して説明を行った。

【墨田区】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

【成果】

- モデル事業実施により、「ひと涼みスポット薬局」の周知と利用の促進ができ、区民の暑さ対策の意識向上をはかれた。
- 多数のメディアに取り上げられ、全国的にも薬局によるこの取組が注目された。
- 熱中症の取組みが報道・注目されることにより、他の団体に影響力をもたらし、実施への取組みの行動を後押しすることができた。例えば都内や他県自治体からの問合せや議会の視察があった。都下のケーキ店からは、同じようにやってみたい・ひと涼みという言葉を使っても良いか等の問い合わせや、区民からも場所の確認やリスト提供の連絡が入った。
- 地元企業（花王株式会社）から協力の申し出があり、想定以上の事業実施に結び付いた。
- 墨田区と墨田区薬剤師会、地元企業、地元のイベント会社、ほか協力企業との連携が強化され、顔の見える、気心の通じた関わり合いのなかで、有意義に同じ方向を向いて一丸となり、達成感を持って事業を行うことができた。
- 区民から、暑さの中で運動場で運動する子供たちを心配する連絡や、野球クラブの練習をやめさせてほしい等の連絡が4回ほど入ったが、これまでなかったことであり、区民の熱中症に関する関心の高さがうかがえた。
- 薬局やスカイツリー会場にて、川柳コンテスト受賞者発表会を実施した。子どもたちや高齢者からは夏の良い思い出になったという意見があった。薬剤師会をねぎらう声もいただいた。区民の関心が高まった。

【墨田区】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

【新たな課題】

指定暑熱避難施設の創出（環境保全課ほか各課との連携強化）

薬局利用促進のための P R 強化や利用しやすさの工夫の検討

庁内全体の取組み

（新たな取り組み、健康対策・環境対策、区民に行動変容を起こしてもらう仕掛けづくり）

（熱中症リスクの高い区民への効果的な対策）

民間を含めた関係機関との連携

【今後の対応方針】

「オールすみで熱中症対策強化」（酷暑から区民の命と健康を守るために）

①指定暑熱避難施設の指定 ②熱中症対策普及団体の指定 ③高齢者熱中症等対策事業等

熱中症特別警戒情報が発表されたときは、その期間中、指定暑熱避難施設を開放

区民への周知等（熱中症特別警戒情報（一段上の警戒アラート）、指定暑熱避難施設）

令和 5 年度に実施したひと涼みスポット薬局の継続

区の実組（広報やアラート、全庁連携等）の継続